首相を訪問

愈よ最後的結論

クレーギ大使

日光に滞在

御喪儀

廿五日執行はせらる

昭和十四年八月二十五日

**交那事變國債費出し** 

(けいから)

那麼は今朝五時三十分武水の朝瀬一に戦前と論を戦行、都勢めやらぬ那麼は今朝五時三十日回記』 心臓・腫薬剤・腫乳薬力戦災艦転本機たる金属州

っため、国民歌中央部はこれに對っため、国民歌や歌の赤色化を贈らんとする即所を参分に即職しつゝあるため、国民歌や歌の赤色化を贈らん

糖 金鳳洲を占領

险案內 聞呈)

**厳を衝いて敵前上陸を敢行** 

イギリス | 【日光電話】 日英東京育談が愈上

、酸となつてあるので、恐らく大回五相會議では首相の投跡によつて一気に最後的結論に達し、 見られらが、板垣陸相を初め 関係関係の意見 は既に入日の五相 會議に於て言ひ壺したいので、応母としては用衆時也に上言同經師部が終五君言語を関す、地腔性愛を部門は解析を認めたい意味として目下領重に之に檢討を加へてゐる、誤い認め宗教は何時までも考決定の整整する」とと答言しては日下領重に之に檢討を加へてゐる、誤い認め宗教は何時までも考決定の整整する」とと答言してもので、平沼首相は問題の重要性に戦み十八日の五相會議を延期

試案の作成を見たが、右は六月五日廟議一決を見た摂本方針に則り外務事務常局 「県電画」ヨーロッパ情勢對應策の其體的措置に關しては有田外相の手許に於て

平沼首相の裁斷注目さる

籔蛇の主和派弾壓

國共抗爭激化の種子を蒔く

## 「団ちイギリス側が治安問題

# 

### とも我方の勝知するところに非ずこれがためたとへ呼感が悪化する 加藤公使

次回五相曾議で

現地軍當局英の態度に憤激

認識缺如を暴露

國政府群明を外務省を通じ發表することになつたるが、我方も亦この理不盡なる英國の一方的聲明を 反駁、【東京支社電話】日經經濟に經上經經濟に經上經濟學に第三國介入を提出し有經

我方けふ聲明發表

英政府の聲明遲る

日英會談對應策に意見交換

豫定通りける葉山に何候

大久津の私間に防河県版を繋げ局日中増三時四十五分平派は相を西

(単立の田政所維護関系性は4つ) 所が開送、整備日本部が出来った。 (上述) 千日田盟 十九日改上語 離上: 声・門を選び上では、第一十九日改上語 離上: 声・門を選び上では、第一十五日 2 上の 1 上 日・東京 1 生 方 か 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日 2 上 日

倉庫を襲撃し

手當り次第掠奪

米騒動佛租界に勃發

||徳爾川此肖音||||辺の雰黙、本月末 | ジア鉱深所郷飯の一部を産鉄町に | になったがこれに先だら先数の | カ政府は帰東情報の緊迫に確へ ア |

を與へ避難準備を講じてゐる 響や非常サイ

来しさうた無機(ことから日本連続 使小財政に関心である。日本政立に対かしたが、相談の一般によいがと 中を、戦権が大・国部政が関するが、対策でも続いしたが、というとして、「日本の財政に関心であた。」 となり、主義の関連に対した、「日本の財政に関心であた。」 となり、主義の関連を制御しており、というとしないである。日本政立は、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策の関東をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策をは、「日本の政策を 駅会兜を弾んで今にも劇劇師が駅」ともなし並く、その砂泥の窓里を「しつつもり、肝黒内の造羊は水田た本日の天祇の窓は腮ぐ助に霧線」た、最早や日本形塊の改水は外は「火土内部り、なほ泣水は次群に骨「火津北日河圏」今まで明るかつ「それと河麓に火柱の底が添ってき」言明方郎は消器一畝水籠となり波 皇軍將兵必死で防水

居留民慌てす

このこざあるを貸期

地内に放入・夕街部は日本都県は

○策断七〇、一〇斯斯二三二。二 ○策断一五三、六〇湖策七六、 七〇精新八七、九〇

**\_\_\_\_** 

更に峨眉山を偵察

惜くも蔣の乘用機を逸す



でスタン十九日同盟 | 職員なる
し 一大使を引し原史的課を受けたと
い 一大使を引してストレラスントロップ
い 相同席の上にアットラコイタリ
が相同席の上にアットラコイタリ

英極東艦隊を増强 情勢の急迫に備ふ

第の意館に載み東洋にある海遊力の高額は東京青城の影響及び原東衛

香港特電【十九日發】

に大天職は変字通り影響と出し、【天雄二十日川里】圏流の葉版下 泥海化せん

州文方面に活動中の海道航空

立退を命ず 部シレグア地方におけるに

共に確固そのもので あります。 耐震一耐火一耐弾の 岩盤の上に巍然たる 新館は我社の事業ご 地上十階・地下四階

自然の既出は連日施返へされてお 「南ボーランド」 震道によれば

加入者各位にて参加 後一時より三時迄に 土曜・祭日を除き午 御希望の方は日曜・ おいで下さい。

4

7

京 H 比 谷

郷に増入り一樹下押し目先街合株式 日英賀談中郷により王昭

押し寄せて來た。民團では童に非常サイレンを賜らし居留民に警告において突如十米決潰、濁流ぎつと海光寺裏より日本租界に向つて溜々たる濁流は遂に防止し得す海光寺裏新興路起點小剛堤の接顧點

筋水工事をなし日本租界防備の最後の一家を先輩せんとしてゐたが、十 日午後 一時に 至り 天津中日の圏。東、建設総書館に民族郷三省勢前のもとに十九日初来新駒路中陸が江北麓を軍を取

濁流 ごつ こ跳込む

\*日本租界、遂に水魔に襲はる

財団に重してあた館版書は日本に かの版めがけて突血十数名の文 なの成功がはて突血十数名の文

【上海二十月间里】 蟾蜍操价部二十日半後四時競技 敵前上陸 脚十両もなく十八日米休米状態に人的高層を現出し、米市均は手の

はて解説をさく高りないが、南山は不断がある。なはフランス形理の他につつある。なはフランス形理の和皮解釈の不顧認動は弱く解

の無償により积累方面の未價は

されてゐた宋紫駒がフランス種別 へつたため支那人下層が綴の解状

野市団立に萬全を関する

苁

▲開米 常園の昵解合から中間・日曜日 瀬配(八月二千月) 観され頻樂簿く双方手

- - -

**光願權の問題** 

洋灰瓦の型の値段

金政策始め六命題、十六項目

一技術を信したるものに付て、前の規定に依り分析又は別

狀況の報告肥料の消費

これの滑りが ペンの滑りが ペンの滑りが るかあの率能すら溜か滓 かる上にペンが大蛭水杼して経済です。 を使ふやうにスラー (を磨けて、能率があ 提目が聞きになつても、 PLATON INK

特殊鑛全般に鍛物の統制

の付属化に伴び来件存の間

の方面より版大統領版をとり、電物の統派と乗り出し山の方。(概約)の

鑛石の分析、鑑定 手續きの様式は

。とてむ込申く直でキガハ 部版出學大田稻早込牛・京東 700三込牛匹隆·三二——艾莱西娅

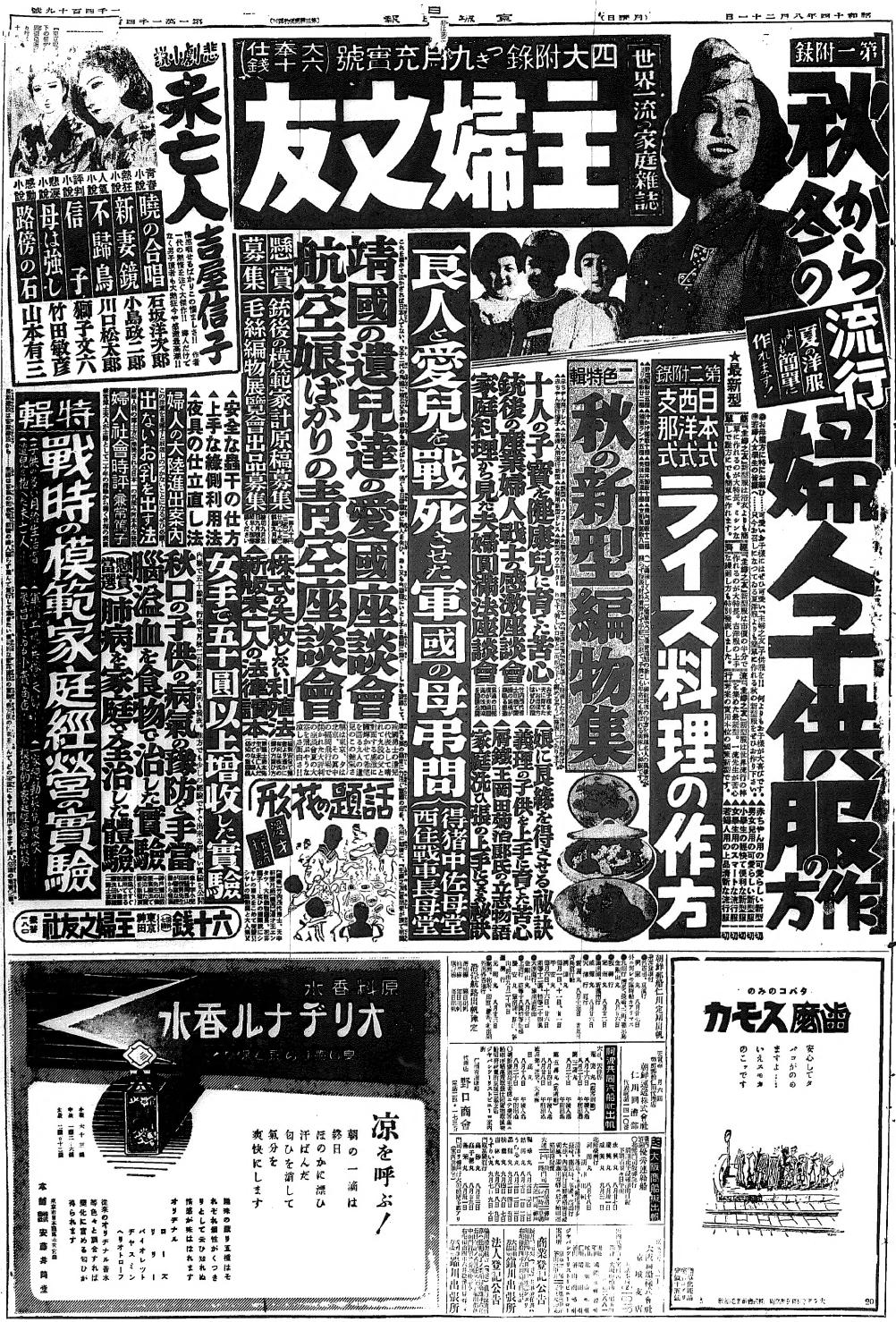
止 日 義講學工氣電

上日 義 講 律 法 學學學學 義 講 業 商 

今てし役自を性大重の務責さべよ擔てがやは君諸らかるあでのるれる成造でめ始 人何し四待てしと生外校て總は者學入。いたき頂てめ努に成姿の力質に劍翼そこ

の流入動向

資格、配給統制はどう響くか





二千圓以下は家族扶養費控除

夏痩せの お肌



中元には賣れた商品券

摩鑁下に巫女の魅力か百貨店

主婦の方へお知らせ

セグソリ後に 発顔・入浴後

清津府営アパー

鐵材禁止、の條件に

設計變更ひご言勞

灼熱の土に挑んで

が々たる戦果、単生に労隊に風歌揚る

| 野女の脚を跳翻影像| | 御三十二日| | 竹端繋がは二十一日 横。 柳一名店

した態を促ばせながら、繰り困がした態を促ばせながら、繰り困が

| 不自 順時間 中の生産者たら

丸刈を通尿

脱縦や、飛頭つて耐酸粒はしたが、れ過ぎ酸もろ とも失く した先

日本学は強く各自職地に大人自職を発力してい、青年の政権、自然としてい、青年の政権があってい、青年の政権がある。

那九年して一丁 (天北郎) 七十時

二人組辻強添送局

[新心補] 新路网安里汽时间级公

是山道路地區,田田小河東區

寄贈のラヂオ

各郡に削當て

黄海沖漁業の壓卷

捕鯨戦影を消

南洋だけで手の廻らぬ日産

脱した風をたうとう感動に称って

丁五十段で人夫を開ひ自修工

■単位信仰。三の一名は十九日一冊 単位信仰。三の一名は十九日一冊

人が自己を指することが発展を指する。ことが発展した二人組に関係

のラザオ受信器の客間を受けた下

出の製作、大同可能的

世ればないず、また田・年前の 歌 世ればないず、また田・年前の 歌 することは相谷とのことになるの 歌 することは相谷とのことになるの 歌

場で関ア式を取行したのだ、 思想、思風の苦悶含な せることになっと せることになっと |一▲平原||▲皮州||▲成川||▲

**満場を見られ** 十九日午後七時半から同所概じで

> 同けること。なった。た。高術的 即はは地球をもつくり用限にふりがほぼ地球をもつくり用限にふり

スパイ探し

喧嘩して飛出した

成化六萬五千周▲成時六萬期▲ 瓜中近三萬五千周▲成時六萬期▲ 配三克區

女房を案じて自殺

**永续她都十一名 同期上降指摘于四名 计四日夜通道** 

と、食事がとて

3 十九日朝藩山上韓北北宋郎氏(小卯田セメ

NA #11日朝上南北行▲金山通過回體 塔林

名譽の賞品中泰億君に

本夫を殺害 情夫、女ご雲がくれ

〇〇一時期間にの名にの所作者

葬儀行列に衝突

サイドカー五名を傷つく

機能で列都中に開場を自はせた。資料者は北野

名譽の戦死者

部が父姉町数方(現入小」に続、「関令文郎芸島県田事・職事物のよう中部三時ころ所が復帰場で、「大統職者事務例がに関して明報、「大郎」 に参加し、見事に取扱スパイを事件。近然する。

「早場」の翻が端すぎる端玉の自ま、歌師になっても聞らないのでは、 一般に 「時内 南原田 一 五七金の献で 一 田中田の東田を製に関えてるた。 『日祖が書きるはやさしい男で 男はんぱの歌り十九日で申小誌ご 有事 るれてみたが十八日で男は「一 田田田の祝には「「日本の社」に関する 「日本の祖には「「日本の社」に「「日本の祖には「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「日本の祖」に「

観の事局人男の死際が原言して

自轉車取締り大田の無鑑札

12、切別的品質質的形成

免税を待

國境の保稅倉庫街に 呉燮

もの凄い果の滞貨

**外檎や栗と肩を並べて** 

「稲田」 三橋駅的局長は千九日正 空から波瀾 國境計匪に

趣明となった

上華の女に係る殺人ま作の「新義州」朝州都明州即南北

五年の求刑 女房殺しに

二時半折が出地方は記で被一級批

九日午後五時十分級列車で京族の【海洋】下城前河流地域県長は十

が十八日解外花館市場で言葉を正

黄海柿堂々の進軍

五十萬圓を目標に十年計畫

内に閉っ麻ってるたが、物白の斑の水のに関っ麻ってるため、物は形成です。は二十八線とろからが食品及び単純精学の耐象性に関するたが、物白の斑の

前に研究州は第の保険が成時に時一成は最初的軍に保護して解内を認

ト大市総で後不を一しかしながら、木形の附した、係件、一郎木崎人に半部一帆となり苦戚してある技様である

在日解供の見込みつかず、近に明

一年の本計構が記載すれば里、百五、よいかした方面に対している。 布して行く くは は対象に動かていわらざるもので 配言腕具は間投入に対象に用せ、対かるため即ぶ間に任意配合を く、改一のなど間としていわらざるもので 配言腕具は間投入に対象に用せ、対かるため即ぶ間に任意配合を く、改一のなど間としていわって保証は、単一数の目標の関係が開始には対する。 であるから、経過は減れを使用せ 仮の電気を辿って選択しています。 を指摘・非由数の目前はも関係と関係と関係を開始に対する。 でもるから、経過は減れを使用せ 仮の電気を辿って選りの影響に出た ながしているが、ナケ は同様はよりていると言うと、 のでで後大き過ぎ関節なほどに関するというというと、

人夫不足の惱み

月間戦下が金五四氏所行の水田の「大郎」去る十日早朝時外復成部 混さ二尺階りの水部りの中に生

不義の子教

主役は男の父親

の一種機関を實施した経典、最直線上刊行物的は五十八郎、法様刊 

ところ程外にも側面で繋が止し口

以レコードの一門機関を質問した

慶南警察部の網に

廣告類を合せて百五十件

【新春州】始女の仏帯からのがた

二年の判決

賃銀は騰りすぎて能率は低下

新義州の運送業者二重の負擔

脚に配った船型が附は原利取船分(平博)と月中に平道総称統領の

經濟警察違反

加賀紫原ないの方が、一世の一世の一角の一十七日十四八世の一方がで 人局の問題が現代の一大日を一

方中には洋腹、紅

女の『死慢漂着全衛の無人島に

召消長に発刺となった木村唯間氏(換門)青秋川西等院大昭から続

江原道金化、超後やえ知らせ、用件済み、居所

京日案内



14

ル・明一九五郎也

の胃腸衰弱

獲れずぎて捨てた話など

退潮の鉱船が氣場々と瞬る

平 | 自当を息る者には十四以下の科学で、 る職分をなずと共に脱版の目向でに、 | 帰収を取押へたが、今後は歌子た

東海町東州県田の万印米華 「名部町下、河西田の万印米華 「名部町下、河西田の万印米華

根氣の

欠乏

人絹絲回盟會朝 鮮 ス フ

病體瘦體に

n

X

が

わ

京城製作所京城製作所京城機 機 機 大事務員募集

道門仍來納為自傳

## 好く か 3

第一銀行京城區

内地に大神・北十つのアルール の大地に大神・北十つのアルール 全共・山東が出るの方とは側に 地域大・コースをではり、大地域の を非常いたがし、とは の大・コースをではり、大地域の を非常いたがし、とは の大・コースをではり、大地域の の大・コースをできない。 のたるない。 のたるない。

日本微生物研究所

胞を悩める

京城府廳では退職者がぞくり

**左黨に與ふ四裙の言葉** 

・病毒の巢

唇からも献

朝鮮石油株式

が日の會致

**石油乳劑** 

め銃後

組合等は運 人工人 丁目 は特別

支管

一〇一番

腸 野 **作式會社** 

京用

夏城蓬

郭 可樣

jîl

地四形四层所

出出張所

電池 東京 一田 百 貨店 市外 (2) 中央 (3) 中央 (4) 中央 (4) 中央 (4) 中央 (5) 中央 (5)









三人 明支式 OEI 治 會 世界 町店社

省藏大

植木寫眞 **副制五 率为** 割二

東 等銀 行 朝 節 殖 産 銀 行 朝 節 殖 産 銀 行 國 節 以 二 〇 九 章 九 電 銀 町 市 町 十 四 電 地 二 〇 九 章 九 電 田 本 の (2) 11 九 八 二 電 田 本 の (2) 11 九 八 二 電

**允童は増えるし** 

建築材料はなし

校舎は八万塞りだ

